「サンゴの海の生き物たち」

レオ＝レオニ　さく

サンゴの海には、たくさんのいきものたちが**すんでいます。**

それらの中には、たがいに、やくに**立つようにかかわり合って、**くらしているものが**います。**

どんな生きものたちが、**どんなかかわり合いを**しているのでしょうか。**海の中を**のぞいてみましょう。

大きなイソギンチャクがいますね。**細長いたくさんのしょく手を**ゆらゆらさせています。**そのしょく手の**間に、きれいな**オレンジ色の魚が**うかんでいます。クマノミです。

イソギンチャクのしょく手には、どくのはりがあります。**イソギンチャクは、これで、**小さなどうぶつを**つかまえて、食べて**いるのです。クマノミも、**さされるとたいへんなことに**なります。でも、**さされることはありません。**クマノミの体は、**ねばねばしたえきで**おおわれています。これが、**さされないひみつです。**

クマノミを食べる**大きな魚は、**イソギンチャクをこわがって、**近づいてきません。だから、**イソギンチャクの中に**いれば、クマノミは**あんぜんです。

イソギンチャクを食べにくる小さな魚がいます。クマノミは、この魚が**近づいてくると、**カチカチと音を**立てて、おいはらって**しまいます。こうして、**イソギンチャクとクマノミは、**たがいにまもり合っているのです。

サンゴの海には、うつくしい魚が**たくさんいます。ホンソメワケベラも、**その一つです。**明るい青色の**体に、頭から**しっぽにかけて**黒いすじが**一本あります。**体の長さは**十二センチメートルほどです。**

この小さい魚が、**大きな魚の**口の中に入っていくのを見ると、びっくりしていまいます。でも、**食べられることはありません。**大きな魚たちは、**体や口の**中についた**虫を、ホンソメワケベラが**とって、きれいに**そうじしてくれるのを**知っているからです。

ホンソメワケベラは、そうじ魚とよばれています。でも、**ただ、そうじを**しているので**はありません。ホンソメワケベラに**とっては、そうじを**してとった**虫が、食べ物に**なるのです。**

このようにして、サンゴのうつくしい**海では、たくさんの**生きものたちが、**さまざまにかかわり合って**くらしています。

光村図書「こくご　二　上　たんぽぽ　より」